

学年の道徳の目標

- ・望ましい生活習慣を身につける。
- ・互いの良さを認め合い、助け合って行動できる。
- ・自ら決めたことを最後までやり抜く強い意志をもつ。

各クラスの道徳

「キャッチボール」(主題 公共のルール)

公共のルールを大切にしようとする心は、周りへの配慮と、深い思いやりを持つことにより養うことができる。よりよい社会を実現するためには、そのような公共のルールを大切に守っていくことが必要であることを、主人公の「明夫」の行動を通して考える授業でした。

- * 公共のルールは他の人のためのものだと思っていたけれど、自分を守るためでもある事が分かりました。(荻原瑞生)
- * 自分が平気と思ってやっていたことも、人がいやだと思っているかもしれない。だから、公共のルールは守らなくてはいけないと思った。(飯塚大地)
- * ルールを守らなければ自分がその立場になった時に困ってしまう事に気付いた。(樋口 葵)
- * 授業前は「ルールなんて…」と思っていたけれど、破ってしまうことで他人に迷惑がかかってしまうことがあるかもしれないので授業後は、ルールはしっかり守らないといけないという気持ちになった。(新島龍彦)
- * 今日の授業で分かったことは自分の立場が変わるだけで相手の気持ちが分かるから、時には相手の立場になって物事を考えられたらいいなと思う。(赤石直弥)
- * この授業を受けて、私も学校で当たり前の事をきちんと守って楽しい学校生活をしたいと思いました。(工藤彩乃)

10月の道徳の予定

- ・夏の思い出(主題 自然への敬愛・愛護)
- ・釣りざおの思い出(主題 節度ある生活)
- ・これからの私(主題 国際理解)
- ・シカト(主題 公正な態度)

「歌う道徳講師」大野靖之さんをお招きして ～大切なものほどそばにある～

歌う道徳講師として日本全国の学校で活動しているシンガーソングライターの大野靖之さんをお招きし、学校ライブがありました。心にしみる歌詞に多くの生徒が感動を感想に表現していました。生徒の感想を一部紹介します。



- * 僕は、大野さんの曲を聴いて何か込み上げるような、言葉にならないようなものを感じました。音楽の力って素晴らしいですね。僕もピアノをやっています。ショパンの曲しか弾かないのですが、でも音楽というのはクラシックでもなんでもやはり素晴らしいですね。聞いた人の気持ちを動かせるのだから。(堀越 人)
- * 大野さんの歌には、とってもいい歌詞が詰まっていた。私はまだ『夢』がないので大野さんの歌を思い出しながら何事にもチャレンジしていきたいです。そして大野さんの夢を応援しています。(中村ゆめか)
- * 大野さんの歌はどこか温かく心のコもった歌ばかりでその一つ一つが心に響きました。大野さんは「夢は口にした時から始まる」とおっしゃっていました。その夢を恥ずかしながら友達に話してみようと思います。大野さんの「紅白歌合戦出場」の夢、必ず叶うと信じています。(尾崎正吉)
- * 今日は大野さんのライブに参加して、夢をあきらめないことの大切さを学びました。また、頼み事をされたら断らないように心がけていきたいです。大野さんの歌を聴いて心が動かされたし、家族

この通信をご覧になったの感想や御家庭での実践の様子をお気軽にお書きください。返信欄は切り取ってお子様を通して担任まで御提出ください。

き り と り

返信欄